

公益財団法人京都市健康づくり協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 岩井英人

2 所在地

京都市南区西九条南田町1-2

3 電話番号

075-662-1300

4 ホームページアドレス

<http://healthpia21.net/>（京都市健康増進センター）

5 設立年月日

平成5年1月8日

6 基本財産

50,000千円（うち本市出えん額 10,000千円，出えん率 20.0%）

7 事業目的

市民が安全で効果的な健康づくりを行えるように，健康づくりの理論の確立及び実践のための環境整備に関する事業を行い，市民の健康と福祉の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 健康づくりを円滑にするための実践活動の推進
- (2) 健康づくりに関する調査，研究及び情報の提供
- (3) 健康づくり関連団体等との連携及び協力並びに当該団体等の活動の振興
- (4) 健康づくり指導者の養成及び研修
- (5) 京都市健康増進センターの管理運営
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課（TEL075-222-3411）

10 役員名等

(1) 理事長

岩井英人

(2) 常務理事

山本一宏

(3) 理事

松井道宣，安岡良介，中島すま子，河上英治，河本勲則，熊谷幸江，佐久間聖二，安部康則（保健福祉局健康長寿のまち・京都推進担当局長），重村浩一（南区保健福祉センター長）

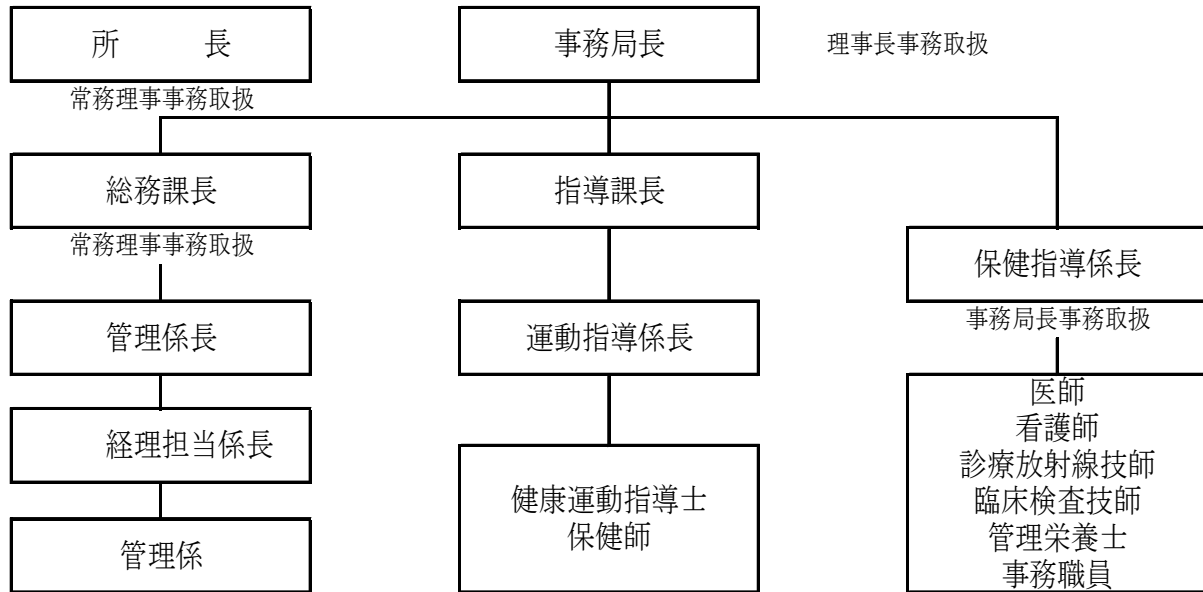
(4) 監事

大川雅司，工藤直之（保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課長）

11 常勤職員数

11人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 令和元年度決算

(1) 事業報告

市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスパia 21）を拠点として、医師、保健師、看護師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフと医療設備及びプール、トレーニングルーム等の運動設備など、健康増進センターの機能を最大限に活用し、個々の利用者のニーズに合った施設利用を追求し、安全で効果的な各種の健康づくり事業に取り組んだ。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため3月に臨時休館したことから収益が大幅減となったが、国債売却による経常外収益の確保により、当期正味財産増減額は約210万円の赤字に止まった。

ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(ア) 介護予防事業の推進

市民の健康増進、発病予防、生活機能低下の早期発見・早期対応に向け、平成15年度に作成された運動プログラムの「京から始めるいきいき筋力トレーニング」（京都市オリジナル）や、平成17年度に他都市に先駆けて導入した「油圧式筋力トレーニングマシン」、運動指導、栄養指導に係る専門スタッフを活用し、次の介護予防事業を実施した。

- a 減塩、糖尿病予防、貯筋、お手軽クッキング教室（シニア栄養相談）
- b 食事と健口でフレイル予防教室（すこやか栄養教室）
- c いきいきシニアの食事バランス教室（スマイル栄養塾）
- d シニア体力向上教室（自主事業）
- e 椅子に座って行う筋トレ教室（自主事業）

(イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進（特定健康診査、特定保健指導の実施）

これまでの市民の健康の保持・増進に取り組んできた成果を生かして、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防に重点を置いた特定健康診査及び特定保健指導を実施した。

(ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進

- a 生活プログラムの作成、指導及び運動実践による健康づくり指導
生活状況調査、医学的検査、運動機能検査及び診察を通して健康状態の総合判定を行い、

その結果から個々の利用者に適した生活プログラム（食生活やトレーニングメニュー）を作成し、その生活プログラムに基づいて医師、管理栄養士及び健康運動指導士による生活・保健指導を実施した。

- b 「いきいき筋トレルーム」での中・高齢者筋トレ事業
- c いきいき長寿パス等の活用
- d 生活機能低下防止対策事業
- (エ) 健康度測定室の運営事業
健康度測定とそれに基づいた運動指導や栄養指導だけでなく、医療専門職や機器を活用して、健康増進の指導等に取り組んだ。
- (オ) 健康づくり関連団体等との連携協力、活動支援事業並びに調査研究及び普及啓発事業
 - a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等
 - (a) 出張指導事業
 - (b) 体力測定出張事業の受託
 - b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等
高齢者の転倒予防及び運動習慣に関する知識と「京から始めるいきいき筋力トレーニング」を習得し、地域で普及啓発するボランティアを養成する事業を京都市から受託し、実施した。
 - c 梅小路公園青空健康プログラムの指導等
 - d 健康づくりに関する調査、研究及び情報提供
- (カ) 青少年等の健全な身体の増進事業
日常生活において「運動・栄養・休養」のバランスを取ることの重要性を市民の方々に普及啓発し、その実践の場としてプール、トレーニングルーム等の利用を促進した。
また、「エアロビクス」、「ヨーガ」、「ストリートダンス」、「楽しい水中たいそう」など、毎月70教室以上を開講した。
- (キ) 健康度測定室での一般健康診断、特定健診、労規健診、予防接種の実施
- (ク) 京都市健康増進センターの管理運営
平成28年度～令和2年度＜第三期＞

(2) 財務諸表

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	60,740	64,229	△3,489
未収金	6,289	7,344	△1,054
前払金	188	253	△65
棚卸資産	367	371	△5
流動資産合計	[67,585]	[72,197]	[△4,612]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	50,000	50,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給与引当預金	22,839	21,189	1,650
特定資産合計	(22,839)	(21,189)	(1,650)
(その他固定資産)			
投資有価証券	50	50	0
什器備品	21,053	21,053	0
減価償却累計額	△21,041	△21,023	△17
電話加入権	148	148	0
その他固定資産合計	(211)	(228)	(△17)
固定資産合計	[73,050]	[71,417]	[1,633]
資産合計	140,634	143,614	△2,980
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,019	12,552	△4,533
預り金	2,164	559	1,605
受入保証金	50	40	10
流動負債合計	[10,233]	[13,152]	[△2,918]
2. 固定負債			
退職手当引当金	38,537	36,492	2,045
固定負債合計	[38,537]	[36,492]	[2,045]
負債合計	48,770	49,644	△873
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[10,000]	[50,000]	[△40,000]
(うち基本財産への充当額)	(10,000)	(50,000)	(△40,000)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[81,864]	[43,971]	[37,894]
(うち基本財産への充当額)	(40,000)	(0)	(40,000)
正味財産合計	91,864	93,971	△2,106
負債及び正味財産合計	140,634	143,614	△2,980

正味財産増減計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	790	790	△0
健康増進事業収入	107,200	122,999	△15,799
健康度測定等事業収入	6,191	5,822	368
健康増進センター管理受託事業収入	78,718	77,770	948
雑収益	449	425	24
経常収益計	193,348	207,807	△14,458
(2) 経常費用			
事業費	200,883	205,533	△4,650
管理費	2,819	2,861	△42
経常費用計	203,702	208,395	△4,693
当期経常増減額	△10,354	△588	△9,766
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	8,248	0	8,248
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	8,248	0	8,248
指定正味財産からの振替額	40,000	0	40,000
当期一般正味財産増減額	37,894	△588	38,482
一般正味財産期首残高	43,971	44,559	△588
一般正味財産期末残高	81,864	43,971	37,894
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	40,000	0	40,000
当期指定正味財産増減額	△40,000	0	△40,000
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	10,000	50,000	△40,000
III. 正味財産期末残高	91,864	93,971	△2,106

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (決算)
正味財産増減計算書	経常収益	212,723	207,807	193,348
	当期経常増減額	2,999	△588	△10,354
	当期正味財産増減額	2,999	△588	△2,106
貸借対照表	総資産	149,773	143,614	140,634
	総負債	55,214	49,644	48,770
	正味財産	94,558	93,971	91,864

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (決算)
委託料	京都市健康増進センター管理 運営業務の受託 (指定管理) (※)	64,000	64,000	64,593
	同施設の南区部分の設備管理	13,562	13,770	14,125
	通所型介護予防事業	3,633	3,633	3,529
	中・高齢者筋力トレーニング 教室	8,592	8,652	6,875
	高齢者筋力トレーニング普及 推進ボランティア養成講座	9,002	9,002	9,033
	特定保健指導等	3,160	2,937	508

(※) 利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日から施設を閉所し、収益の大幅減になったが、基本財産の国債を売却することで、赤字を210万円にとどめることができた。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大も影響し、利用自粛や臨時閉所に伴って対前年度比で大幅な利用者の減少となった。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 2期連続の赤字となった。 引き続き、厳しい運営状況が続くことが想定されることから、利用者数の回復や経費節減に努め、早急に黒字回復を目指す必要がある。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で今後の利用者数の見込みは芳しくないことが想定されることから、十分な感染防止対策を行いつつ、独自性を発揮できる事業内容を検討するなど、利用者数の回復及び事業収入確保に取り組んでほしい。